令和8年度

保護者からの事業評価の集計結果（公表）

北区立 児童発達支援センター

公表日
2026年3月31日

対象事業者（共通）
放課後 ○ 保育所等訪問 ○ 居宅訪問 ○ 医療型 ○

アンケート期間
2026年3月2日～3月20日

		チェック項目	はい	どちらかといえばはい	いえば	どちらかといえばいいえ	ご意見	ご意見を検討点及び改善
事業所の特徴	1	こどもの活動のスペースやトイレ等は子どもに配慮されていると思いますか。	62	2	1		広い空間で、遊具の数が多くのスペースがあり、子どもが自由に遊べる環境が整っていると感じます。また、トイレも清潔で使いやすく、安心して利用できると思います。	引き続き、安全で清潔な環境の維持に努めます。
	2	職員の言語聴覚士数は適切であると思いますか。	39	5	5		初めて相談をさせていただき面談をされるときに、どんなことを話すのか、緊張をしてしまうのではないかと心配でした。子供たちの中で、言語訓練をしたり、また、どのようなことを話したりするのか、楽しみにしています。 また、クラスに入ったりしながら子供達と接する中で、子供たちの成長や課題を感じ取ったり、保護者の方へ子供との関わり方のアドバイスをしたりと言語聴覚士の役割は多岐にわたり、クラス担任以外でクラスに関わってくださっているのかなと思いました。 また、保護者の方へ子供との関わり方のアドバイスをしたりと言語聴覚士の役割は多岐にわたり、クラス担任以外でクラスに関わってくださっているのかなと思いました。	必要な方法や専門的に応じた適切な言語聴覚療法に努めます。 また、保護者様に対しましても、ご相談や助言を行うなど、お子様と保護者様の支援に努めます。
	3	生活指導は、こどもにとりやすく集団生活の基礎となっていると思いますか。 はい：集団生活、あり、集団時の指導など、保育所等訪問において、パソコンなどの情報処理などの指導は適切に行われていると思いますか。	43	3		2	保護者面談のときや集団の場で話しているときに、子どもが自分で考えていないことへの声掛けなどコーチングの技法が取り組まれていると感じました。 コーチングの技法が日常生活でも多く使われていると思うので良いかと思います。	保護者面談のときや集団の場で話しているときに、子どもが自分で考えていないことへの声掛けなどコーチングの技法が取り組まれていると感じました。 コーチングの技法が日常生活でも多く使われていると思うので良いかと思います。
	4	生活指導は、適度で、心地よく過ごす余裕度になっていると思いますか。 また、こども全体の活動に合わせた生活になっていると思いますか。	43	2				日々の連絡・調整を頂き、適度な会話と心地良い環境作りをしていただき、ありがとうございます。 また、保護者様がリラックス頂ける場合の場所の確保に努めます。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた（個別支援計画等の）作成がされていると思いますか。	39	6	1		先生による個別指導の場面が、細やかに行われており、子供が一番好きな遊びをきっかけに、子供の興味関心を広げる工夫がされていると感じます。 また、保護者の方へ、子供の特性や接し方についてのアドバイスをしたり、子供の様子を伝えたりと、保護者の方へ寄り添った支援をしていただいていると感じます。	個別支援計画は、担当者と連携して、お話の内容や専門的な視点を踏まえ、お子様の特性や課題を整理し、保護者様の気持ちに寄り添いながら、一緒に考えていく姿勢を大切にしています。 また、保護者様が安心して相談できる関係づくりを心がけ、専門的な視点と日常の様子を丁寧に伝えながら、ご家庭での関わり方についても一緒に考えていきます。
	6	事業所が定期的に行う保護者アンケート、事業所の提供する各種行事などについて満足感はありますか。	38	5		4	各回担当されてきてくれるのでとても安心感と言うか、信頼感を感じます。	今後の事業内容やそのねらいや評価等様々な知らせるよう、分かりやすい情報提供の工夫を検討します。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた（個別支援計画等の）作成がされていると思いますか。	37	5		3	個別面談に毎回参加している点	個別支援計画の作成は、担当と連携して、お話の内容や専門的な視点を踏まえ、お子様の特性や課題を整理し、保護者様の気持ちに寄り添いながら、一緒に考えていく姿勢を大切にしています。 また、保護者様が安心して相談できる関係づくりを心がけ、専門的な視点と日常の様子を丁寧に伝えながら、ご家庭での関わり方についても一緒に考えていきます。
	8	言語発達支援面接は、言語発達支援ガイドライン（「言語発達支援の提供に関する考え方」の「個人支援」「言語支援」「指導」）ドの言語発達のこどもへの支援と連携と指導が適切に提供されていますか。その上で事業所独自支援内容が設定されていると思いますか。	34	5		6		
	9	言語発達支援面接は、分かりやすく説明されていると思いますか。	40	3	1	1	言語聴覚士の方が、保護者の方へ、子供の言語発達の状態や、今後の支援内容について、分かりやすく説明されていると思います。	引き続き、言語聴覚士による支援について、分かりやすい説明に努めます。
	10	事業所の施設プログラムが設定されているようですが、子どもにとって適切であると思いますか。	33	8	2	2	個別に、発音や文法の指導、聞き取りの練習、また、集団では、ルールを守って遊ぶ練習など、様々なプログラムがあり、子供たちにとって楽しく学ぶことができていると思います。	引き続き、個別の指導に加えて、集団での練習の場を設定し、様々な経験や課題・目標に応じたプログラムの提供に努めます。
	11	事業所の設定による、活動面の工夫点、その活動で目的の達成ができていると思いますか。	13	6	15	14	絵カードを使用したり、ゲームを取り入れたりと、子供たちが楽しみながら学習できています。	絵カードを使用したり、ゲームを取り入れたりと、子供たちが楽しみながら学習できています。
	12	事業所の利用日数・時間は適切であると思いますか。 はい：適切、あり、適切、あり、適切、あり、